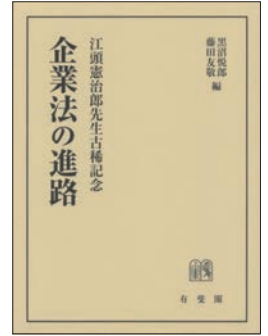


## 企業法の進路 -- 江頭憲治郎先生古稀記念

黒沼 悦郎(早稲田大学教授)・  
藤田 友敬(東京大学教授)／編

2017年2月 A5判上製箱入, 1074ページ  
定価 24,840円(本体 23,000円) ISBN 978-4-641-13757-8

学界の第一線を歩んでこられた江頭憲治郎先生のご歳を祝い、  
薫陶を受けた研究者37名が寄稿。  
最先端の研究が集結した珠玉の論文集。



# 記念 論文集

## 民事訴訟法の理論 -- 高橋宏志先生古稀祝賀論文集

高田 裕成(東京大学教授)・山本 弘(神戸大学教授)・山本 克己(京都大学教授)・  
松下 淳一(東京大学教授)・畑 瑞穂(東京大学教授)／編

2018年2月 A5判上製箱入, 1434ページ  
定価 32,400円(本体 30,000円) ISBN 978-4-641-13780-6

高橋宏志先生のご歳をお祝いし、学界・実務界を牽引する執筆陣による珠玉の論攷52篇を収載。  
民事訴訟法理論の“いま”と“これから”を描き出す。

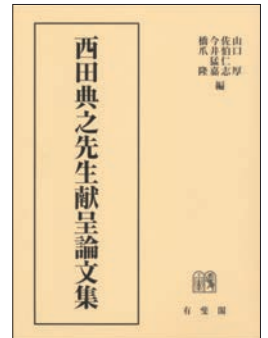


## 西田典之先生献呈論文集

山口 厚(東京大学名誉教授)・佐伯 仁志(東京大学教授)・  
今井 猛嘉(法政大学教授)・橋爪 隆(東京大学教授)／編

2017年3月 A5判上製箱入, 602ページ  
定価 15,120円(本体 14,000円) ISBN 978-4-641-13918-3

2013年6月にご逝去された西田典之先生に捧げる論文集。  
西田先生が研究されたテーマを中心に、縁の深い研究者が寄稿。



## 経済法の現代的課題 -- 舟田正之先生古稀祝賀

金井 貴嗣(中央大学教授)・土田 和博(早稲田大学教授)・  
東條 吉純(立教大学教授)／編

2017年6月 A5判上製箱入, 710ページ  
定価 18,360円(本体 17,000円) ISBN 978-4-641-14491-0

半世紀にわたって経済法研究に携わられ、学界をリードしてこられた舟田正之先生のご歳を祝い、  
幅広い年代の執筆者が論攷を寄せた珠玉の論文集。



# 法哲学 法社会学

## 法の支配と実践理性の制度化

田中 成明(京都大学名誉教授)／著

2018年12月 A5判上製カバー付, 360ページ  
定価 7,020円(本体 6,500円) ISBN 978-4-641-12604-6

「法の支配に基づく実践理性の制度化」という法構想の基本的な方向をさぐり、  
その全体的な理論枠組を再構築する意欲的論文集。  
法理的な考察姿勢を明確に示しつつ、視座・構想・モデルなどについて、  
どのような理論枠組が構築されるのか、  
その基本的な方向と理論構造を明らかにする。





## 論究憲法 -- 憲法の過去から未来へ

長谷部 恭男 (早稲田大学教授) / 編

2017年5月 A5判並製カバー付, 474ページ  
定価 4,104円 (本体 3,800円) ISBN 978-4-641-22728-6

論究ジュリスト「憲法」特集に掲載した論文を再構成。  
日本国憲法成立から今日に至る、憲法上の重要な動き(判例)を  
理論的に読み解きながら、憲法のこれまでを理解し、これからを考える。



## 違憲審査 -- その焦点の定め方

千葉 勝美 (元最高裁判所判事) / 著

2017年5月 四六判上製カバー付, 214ページ  
定価 2,700円 (本体 2,500円) ISBN 978-4-641-22724-8

裁判官出身の最高裁判事として、最高裁の多数意見の形成に影響を与えているといわれた著者が、  
大法廷事件を始めとした重要な憲法訴訟に関して、自身の補足意見を手掛かりに、司法の立ち位置を考察する。



## 憲法適合的解釈の比較研究

土井 真一 (京都大学教授) / 編著 松本 哲治 (同志社大学教授),  
大林 啓吾 (千葉大学准教授), 奥村 公輔 (駒澤大学准教授),  
白水 隆 (千葉大学准教授), 山田 哲史 (岡山大学准教授) / 著

2018年12月 A5判上製カバー付, 286ページ  
定価 6,480円 (本体 6,000円) ISBN 978-4-641-22751-4

日本における議論状況を明らかにした上で、アメリカ・カナダ・ドイツ・フランスにおける憲法適合的解釈を  
比較法的に分析し、日本法におけるそれとの関係につき、定位をこころみる。



## 憲法の論理 長谷部 恭男 (早稲田大学教授) / 著

2017年4月 A5判上製カバー付, 244ページ  
定価 4,860円 (本体 4,500円) ISBN 978-4-641-22716-3

著者が2013年から2016年にかけて発表した論文13本と、書き下ろし1本をまとめた。  
「憲法の背後にあるのは、純化された実体としての人民か、約定たる憲法の基本原理か、それとも神の命ずる法か」  
('はしがき'より)——長谷部憲法学の神髄を示す一冊。

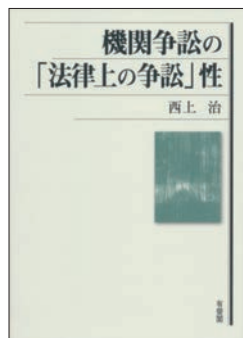


## 機関争訟の「法律上の争訟」性

西上 治 (大阪市立大学准教授) / 著

2017年9月 A5判上製カバー付, 458ページ  
定価 8,964円 (本体 8,300円) ISBN 978-4-641-22730-9

機関争訟は全て「法律上の争訟」ではないと本当に言えるのか。  
訴訟法と組織法にまたがるこの問題の構造につき、  
該当性否定の論拠の基礎とされる、  
ドイツ公法学における国家法人説に議論の淵源を探りつつ、  
学説の展開を詳細に整理し分析を加える。



## 第三者効の研究 -- 第三者規律の基層

巽 智彦 (成蹊大学准教授) / 著

2017年9月 A5判上製カバー付, 414ページ  
定価 8,640円 (本体 8,000円) ISBN 978-4-641-22729-3

行訴法上の第三者効の内容を解明し、それを行政紛争の画一的解決のための仕組みとして分析することを通じ、  
形成訴訟や対世効の問題一般へのアプローチを試みる。  
行政訴訟のみならず民事訴訟も含めた、訴訟法理論全体に関わる解釈論、立法論を展望。



## 分権政策法務の実践

北村 喜宣(上智大学教授)／著

2018年2月 A5判上製カバー付, 334ページ  
定価 5,616円(本体 5,200円) ISBN 978-4-641-22739-2

分権改革の課題のひとつは法令をいかに地域特性に適合するようになるかである。その手段である条例に関して、憲法94条を踏まえた解釈論、自治体の自主的な条例対応を支援する理論を提示するとともに、法律の実施における考え方を事例に則して議論する。



## 行政行為と司法的統制 -- 日仏比較法の視点から (北海道大学大学院法学研究科叢書 20)

亘理 格(中央大学教授)／著

2018年6月 A5判上製カバー付, 486ページ  
定価 9,072円(本体 8,400円) ISBN 978-4-641-22742-2

フランス行政法との比較法的視点から、わが国の行政行為論を再構成する。



## 行政契約の機能と限界 (北海道大学大学院法学研究科叢書 21)

岸本 太樹(北海道大学教授)／著

2018年12月 A5判上製カバー付, 478ページ 定価 8,100円(本体 7,500円) ISBN 978-4-641-22759-0

ドイツにおける議論の展開及び立法動向等を踏まえながら、体系化の実現可能性ないし現時点で実現しうる体系化の程度について深く考察を加える著者渾身の研究成果。

## 行政情報の法理論 (九州大学法学叢書 5)

村上 裕章(九州大学教授)／著

2018年3月 A5判上製カバー付, 422ページ  
定価 8,424円(本体 7,800円) ISBN 978-4-641-22747-7

「情報公開」「個人情報保護」「行政情報手続」に分類し、それぞれの制度・解釈論、比較法研究、事例研究を通じて考察を加え、著しい進展を見せる行政情報法の全体像を明らかにする。



## 租税法と民法

金子 宏(東京大学名誉教授), 中里 実(東京大学教授)／編

2018年11月 A5判上製カバー付, 624ページ  
定価 9,720円(本体 9,000円) ISBN 978-4-641-22754-5

珠玉の論文32篇を収録。これまでの「取引法の一部としての租税法」研究というアプローチを更に進め、理論的にも深化し、最新の課題をもカバーした、租税法研究の到達点を示す。



## 財政と金融の法的構造

中里 実(東京大学教授)／著

2018年3月 A5判上製カバー付, 382ページ  
定価 7,560円(本体 7,000円) ISBN 978-4-641-22715-6

現代的な金融取引の課税問題を考えるにあたり、基本原則に立ち返る——その必要性を実感した著者が、公法や私法の種類、歴史学、経済学等、すべての枠を取り払う。金銭の本質について法的に検討し、国の財政・金融に関する活動とそれをめぐる政策の基礎に横たわる法的構造を解明する。

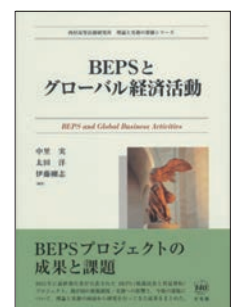


## BEPS とグローバル経済活動

中里 実(東京大学教授), 太田 洋(弁護士), 伊藤 剛志(弁護士)／編著

2017年11月 A5判上製カバー付, 338ページ  
定価 5,832円(本体 5,400円) ISBN 978-4-641-22727-9

タックスヘイブンを利用した租税回避が活発化し、各国法人税源の深刻な浸食を招いている。OECDによる2015年の最終報告を素材に国際課税理論・実務の最先端を考察する。





## 包括的担保法の諸問題 (上智大学法学叢書 38)

佐藤 岩昭 (上智大学教授) / 著

2017年5月 A5判上製カバー付, 362ページ  
定価 6,156円 (本体 5,700円) ISBN 978-4-641-13767-7

本書では、「包括的担保権」という概念で、債権者代位権・直接訴権・詐害行為取消権という訴権を、債権者に与えられた債権の強制的回収手段として説明することにより、三つの訴権の体系的な位置づけと、それらの個々の機能をより明晰に言語化することを目指した。

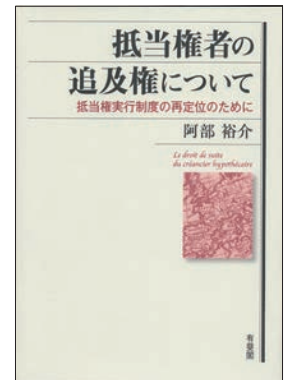


## 抵当権者の追及権について -- 抵当権実行制度の再定位のために

阿部 裕介 (東北大学准教授) / 著

2018年8月 A5判上製カバー付, 566ページ  
定価 10,692円 (本体 9,900円) ISBN 978-4-641-13788-2

抵当不動産が第三取得者に譲渡された場合における抵当権者の追及権に関するフランス法学説史を紐解き、得られた示唆をもとに日本法上の抵当権実行制度の理論的な再定位を試みる。詳細かつ重厚な歴史研究の上に、物権法の新たな体系の可能性をも投げかける研究書。



## 不法行為責任内容論序説

長野 史寛 (京都大学准教授) / 著

2017年3月 A5判上製カバー付, 338ページ  
定価 5,832円 (本体 5,400円) ISBN 978-4-641-13768-4

物損・人損につきドイツの判例・学説を細密に分析し、責任内容確定の法理が四つの規範群と相互の適用関係を規律するルールとからなることを示す。従前の理論的蓄積の浅い領域で具体的規範命題を提示し、不法行為効果論の一般理論を構築せんとする意欲的論考。第13回(2017年度)商事法務研究会賞受賞。



## 自動運転と法

藤田 友敬 (東京大学教授) / 編

2018年1月 A5判上製カバー付, 306ページ  
定価 4,212円 (本体 3,900円) ISBN 978-4-641-12599-5

自動運転車の普及が現実味を帯びてきた中、事故などの際の法的責任のあり方が議論となっている。本書は、研究者・実務家による検討の成果をまとめ、公表するものである。



## 信託法 -- 現代民法 別巻

道垣内 弘人 (東京大学教授) / 著

2017年5月 A5判上製カバー付, 460ページ  
定価 3,780円 (本体 3,500円) ISBN 978-4-641-13765-3

平成18年制定の現行信託法について、その文言・論理構造に注意しながら、厳密な解釈論を示し、信託法の本質を解明する本書は、今後の研究の発展や実務の展開の礎となろう。

立法過程にもたずさわった第一人者による、待望の体系書。





## 社債のリストラクチャリング -- 財務危機における 社債権者の意思決定に係る法的規律

行岡 睦彦 (神戸大学准教授) / 著

2018年2月 A5判上製カバー付, 460ページ  
定価 9,180円 (本体 8,500円) ISBN 978-4-641-22737-8

社債リストラクチャリングに係る法的諸課題と、それらに対してあるべき法的規律。社債市場のありようをも左右するものでありながら、倒産法と会社法の境界になお伏在するこの問題に、比較法的検討を踏まえて切り込み、立法論も含む新たな議論の喚起・深化に貢献する。



## 株主の利益に反する経営の適法性と持続可能性 -- 会社が築く豊かで住みよい社会

草野 耕一 (西村あさひ法律事務所代表パートナー, 慶應義塾大学教授) / 著

2018年4月 A5判上製カバー付, 376ページ  
定価 6,480円 (本体 6,000円) ISBN 978-4-641-13794-3

企業の非営利活動は「株主利益の最大化」という会社法の大原則と両立するのか、経営者はこれを継続的に実施できるのか。長年弁護士として企業経営者の隣に立ってきた経験と数理的な知見を生かして分析、実践可能な行動指針を導く。



## M&A 契約研究 -- 理論・実証研究とモデル契約条項

藤田 友敬 (東京大学教授) / 編著

2018年12月 A5判並製カバー付, 386ページ  
定価 4,536円 (本体 4,200円) ISBN 978-4-641-13800-1

日本法の下で適切に機能する M&A 契約条項とはどのようなものか。共通理解の実現と深化を目指し、条項1つひとつの文言、意義、経済的機能を、研究者・実務家が詳しく分析・検討。「論究ジュリスト」掲載の研究会を通じての到達点・モデル契約条項を単行本化。

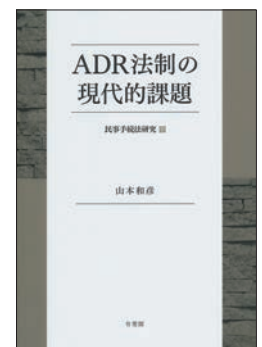


## ADR 法制の現代的課題 -- 民事手続法研究 III

山本 和彦 (一橋大学教授) / 著

2018年11月 A5判上製カバー付, 510ページ  
定価 11,556円 (本体 10,700円) ISBN 978-4-641-13793-6

ADR (裁判外紛争解決手続) は、判決手続と相俟って、紛争解決の質を向上させていく。ADR 法の立案や見直しに参画し、ADR 機関とも関わって、ADR 全体を様々な視角から観察してきた第一線研究者による、総合的かつアクチュアルな考究。



## 民事訴訟による集合的権利保護の立法と理論

三木 浩一 (慶應義塾大学教授) / 著

2017年12月 A5判上製カバー付, 372ページ  
定価 8,640円 (本体 8,000円) ISBN 978-4-641-13743-1

いわゆる「消費者集合訴訟」をはじめとする『集合的権利保護』に関する一連の論攷をまとめた論文集。消費者裁判手続特例法の立法に携わり、米国、ブラジル等の先進地の立法にも通じた著者が民事訴訟法理論・立法論・比較法の観点から執筆した論攷を収録。





## 逐条解説 刑事収容施設法 第3版

林 眞琴 (法務省刑事局長),  
北村 篤 (広島地方検察庁検事正),  
名取 俊也 (弁護士) / 著

2017年11月 A5判上製箱入, 1064ページ  
定価 9,720円 (本体 9,000円) ISBN 978-4-641-01845-7

重要な訓令・通達の内容に触れながら, 矯正実務における運用を明らかにする。



## 注釈少年法 第4版

田宮 裕 (元立教大学名誉教授), 廣瀬 健二 (立教大学教授) / 編

2017年9月 A5判並製カバー付, 752ページ  
定価 6,048円 (本体 5,600円) ISBN 978-4-641-13922-0

少年の保護と犯罪対策という二面性をもつ少年法を, 少年審判実務に現に携わる裁判官・弁護士が中心となって解説した手引書。現在の実務の到達点を明らかにし, 制度とその運用の実像を浮き彫りにする。



## 労働者保護法の基礎と構造

-- 法規制の柔軟化を契機とした日独仏比較法研究

桑村 裕美子 (東北大学准教授) / 著

2017年2月 A5判上製カバー付, 400ページ  
定価 8,640円 (本体 8,000円) ISBN 978-4-641-14490-3

近年, あらゆる労働関係に一律に適用される強行規定ではなく, 労使合意による例外設定 (逸脱) が可能な法規定が増えている。そうした規制手法の有用性と限界を検討し, 国家・集団・個人が労働者保護の実現においてどのように関わるのが適切かを論じることで, 労働者保護法のあるべき姿を模索する。2017年度労働関係図書優秀賞受賞。



## 越境犯罪の国際的規制

石井 由梨佳 (防衛大学校専任講師) / 著

2017年8月 A5判上製カバー付, 528ページ  
定価 8,964円 (本体 8,300円) ISBN 978-4-641-04680-1

近年越境犯罪の規制が強まるにつれ, 私人の権利との軋轢が生じるようになった。本書は越境犯罪の捜査における国家の執行管轄権の限界と, 国家間協力を定める合意の下での国家の権利義務の内実を実証し, 越境犯罪の国際的規制の法的諸構成を明らかにする。



## 独仏法における法定解除の歴史と論理 (大阪市立大学法学叢書 64)

杉本 好央 (大阪市立大学准教授) / 著

2018年6月 A5判上製カバー付, 276ページ  
定価 7,452円 (本体 6,900円) ISBN 978-4-641-04821-8

2017年に成立した民法改正には, 法定解除に関して理論的な問題が存在する。本書では独仏法における一般的な法定解除の歴史的展開を素材とする考察を行う。そして, 独仏法における一般的な法定解除の形成と展開を支えた論理を明らかにして, 本改正に対する示唆を行う。





## 注釈日本国憲法(2) -- 10条~24条

長谷部 恭男(早稲田大学教授)／編  
川岸 令和(早稲田大学教授)・  
駒村 圭吾(慶應義塾大学教授)・  
阪口 正二郎(一橋大学教授)・  
穴戸 常寿(東京大学教授)・  
土井 真一(京都大学教授)／著

2017年1月 A5判上製箱入, 548ページ  
定価6,804円(本体6,300円) ISBN 978-4-641-01797-9

全4巻中の第1回配本。国民の権利及び義務に関する第3章の前半を収録。

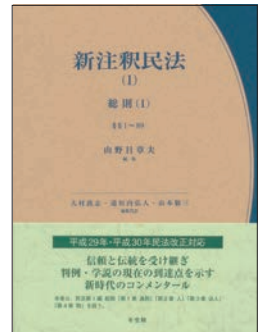


## 新注釈民法(1)-- 総則(1) 1条~89条

山野目 章夫(早稲田大学教授)／編集  
大村 敦志(東京大学教授)・道垣内 弘人(東京大学教授)・  
山本 敬三(京都大学教授)／編集代表

2018年11月 A5判上製箱入, 862ページ  
定価9,720円(本体9,000円) ISBN 978-4-641-01754-2

「総説」に加えて、「第1編 総則」中の「第1章 通則」「第2章 人」「第3章 法人」「第4章 物」を扱う。  
平成29年・平成30年改正対応。



## 新注釈民法(14)-- 債権(7) 623条~696条

山本 豊(京都大学名誉教授)／編集 大村 敦志・道垣内 弘人・山本 敬三／編集代表

2018年10月 A5判上製箱入, 712ページ 定価7,992円(本体7,400円) ISBN 978-4-641-01760-3

「第3編 債権」第2章 契約中の第8節から第14節まで(雇用・請負・委任・寄託・組合・終身定期金・和解)を扱う。平成29年(債権関係)改正対応。

## 新注釈民法(15)-- 債権(8) 697条~711条

窪田 充見(神戸大学教授)／編集 大村 敦志・道垣内 弘人・山本 敬三／編集代表

2017年2月 A5判上製箱入, 984ページ 定価10,800円(本体10,000円) ISBN 978-4-641-01751-1

「第3編 債権」の「第3章 事務管理」「第4章 不当利得」および「第5章 不法行為」中一般不法行為を扱う。

## 新注釈民法(17)-- 親族(1) 725条~791条

二宮 周平(立命館大学教授)／編集 大村 敦志・道垣内 弘人・山本 敬三／編集代表

2017年10月 A5判上製箱入, 804ページ 定価8,856円(本体8,200円) ISBN 978-4-641-01752-8

「第4編親族」の「第1章 総則」「第2章 婚姻」「第3章 親子」「第1節 実子」を取り扱う。

## 注釈民事訴訟法 第4巻 -- 第一審の訴訟手続(2) 179条~280条

高田 裕成(東京大学教授)・三木 浩一(慶應義塾大学教授)・  
山本 克己(京都大学教授)・山本 和彦(一橋大学教授)／編集

2017年7月 A5判上製箱入, 1534ページ  
定価19,440円(本体18,000円) ISBN 978-4-641-01794-8

本格的コンメンタール『注釈民事訴訟法』全5巻, 第2回配本。本巻は, 第2編「第一審の訴訟手続」のうち, 第4章「証拠」から第8章「簡易裁判所の訴訟手続に関する特則」を扱う。





有斐閣

